

都市再生整備計画(第2回変更)

みたけ なか
御嵩・中地区

ぎふ けん みたけちよう
岐阜県 御嵩町

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	みたけちょう 御高町	地区名	みたけ なかちく 御嵩・中地区	面積	95.8 ha				
計画期間	平成	21 年度	～	平成	25 年度	交付期間	平成	21 年度	～	平成	25 年度

<p>目標</p> <p>出あい・ふれあい・にぎわいのまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民が豊かな地域資源の価値をもう一度見つめ直し、関心を持ち、誇りが持てるまちにします。 ○「おもてなしの心」を持ち、喜びや満足、感動を共有し、豊かな人間関係を築き、人を迎え入れる雰囲気のある温かいまちにします。 ○歩く人が行き交い、人々が交流でき、連携し、ふれあえるまちにします。
<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況 (当地区の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地区には、中山道が東西に通じ、宿場である御嶽宿があり、東西交通の要衝の地として古代から近世に開けて、人々が行き交い、出会う場であった。その御嶽宿には、当時の様子が偲ばれる本陣と商屋竹屋など格子戸の残る古い町並みが、そして中山道沿線には願興寺や愚溪寺、春日神社など由緒ある寺社、鬼の首塚、用心井戸など街道の姿を彷彿させ、多くの史跡がある。また、この御嶽宿の目の前に名鉄御嵩駅もあり、人を迎える資源がたくさんあるものの、現在御嶽宿地域はかつてのような賑わいや知名度、町民の心のなかでの意識が薄れ、その雰囲気は失われつつある。また、周辺地域の商店街としての活気も失われ、たくさんある資源を活かすことができず、モータリゼーションや少子社会の進展により名鉄広見線の利用者も大きく減少している。 ・当地区西には、東海環状自動車道が開通し、同時に可児・御嵩ICが開設され、その環状自動車道に接続する国道21号バイパスも整備されつつあり、当地区の南側と接し、交流人口の増加は十分期待ができる。 <p>(当地区における上位計画の位置付け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嵩町第四次総合計画においては、当地区を「交流の場」として位置付け、地域が一体となって町民の交流や来訪者を増やす取り組みを掲げている。また、都市計画マスタープランでは、交流拠点を目指し、みんなが出歩けるまちづくりを掲げ、当地域の整備を位置付けている。 <p>(住民活動と連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地区にある中山道みたけ館では、中山道をはじめ御嵩町郷土を紹介する特別展などを通じ、住民の郷土愛を育む取り組みを行っている。 ・商家竹屋では、宿場町の面影を偲ばせており、来訪者など多くの方が訪れ、住民の文化活動の拠点となっている。 ・当地域内で賑わいを出そうと住民グループが「よつてりやあみたけ 夢いる街道宿場まつり」を毎年おこない、町内外から2万人規模の多くの方が訪れている。 ・地域の人により街灯や木製手作りペンチも置かれ、訪れた人を和ませている。 ・願興寺に隣接する広場では住民グループによる手作りのお店や街なみなどを案内する歴史ボランティアの活動もみられる。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては、街道の宿場町として、また垂炭の採掘や「東濃」の中心地として、賑わいを見せていたが、少子高齢社会の進展、周辺都市の大型店進出などにより、人通りがまばらで寂しくなっている。 ・商店街として並んでいたお店も空き家や空き地も点在し、格子戸の街並みを形成している家屋が空き家となったり、家を取り壊されて空き地になっている所も目につくようになり、活気が無くなってきている。 ・町民意識調査(平成19年1月実施)では、当地区について「興味がない」「さみしい」「魅力がない」「発展が望めない」などで「御嶽宿などに関心がない」が40.8%もあったものの、逆に「御嶽宿地域に関心がある」が44.1%、「賑わう活動や取り組みの活動に参加してみたいと思う」が41.2%となっており、住民活動への具体的な場と取り組みのきっかけづくりが今、求められている。 ・御嵩町の良さを知ってもらうためには、歩いて御嵩のまち中を見て、肌で感じ、御嵩の資源を見つめ直すことが求められており、人が歩いて往来できる環境の整備と御嵩町の情報発信案内拠点とする必要がある。 ・中山道をはじめ、多く残る史跡、自然などを活用した取り組みがあまり行われておらず、この地区の史跡、自然、住民活動などの資源を強かにアピールするため、案内サインや統一した景観づくり、地域の河川親水向上などを行う必要がある。 ・ボランティアや住民団体の活動は多くみられるものの、継続した公益活動になってつながっていない。学習や研修機会の場を提供し、NPO法人など育成支援を行い、地域の活性化につなげる必要がある。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪れる人を迎え入れるおもてなしの場としてしていく。 ・「人」「もの」「情報」が交流し、様々な活動の支援や住民、団体、事業者、行政の相互の交流、連携を担う住民活動支援により交流拠点を中心に地域の活性化への活動が楽しく継続的におこなわれる仕組みをつくる。 ・住民との協働によるまちづくりを進め、まちへの愛着と郷土愛を育む。

指 標		単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
						基準年度	目標年度
住民意識調査における関心割合	%	御嶽宿周辺への住民関心度	御嶽宿地域で住民同士や来訪者の交流を増やす取り組みやおもてなしの場の提供など必要な事業を行うことにより、住民自らが参加、参画する機会をつくり地域への関心を深めることとなる。	44%	H19	50%	H25
御嶽宿地域観光客入込み客数	人/年	岐阜県観光レクリエーション動態調査集計報告数値	中山道、御嶽宿など御嵩町の史跡、歴史、自然など情報発信とにぎわい創出の取り組みにより、来訪者を増やす。	6.7万	H19	6.7万	H25
御嶽宿地域を拠点とするNPO法人	団体	特定非営利活動促進法によるNPO法人数	単なるボランティア活動だけでなく、使命や活動目標を明確にし継続した活動を育成することにより、住民・団体活動のけん引と誘導を行う。	0	H19	1	H25

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>御嶽宿(御嵩駅)を交流拠点地域と位置づけ、地域交流センターなどを整備し、住民同士や来訪者との交流を図る。 この地域は、中山道の街道で、名鉄御嵩駅があり、国道21号バイパスからも寄り付きがよく、住民の地域づくり講座など学習・研修、住民団体活動の展示販売、住民活動支援、会議打合せ活動スペース、住民健康向上・相談などの機能を持った施設を整備する。ここを拠点として、子ども、学生、高齢者など住民同士が交流する場づくりを提供し、活動への育成を図り、NPO団体等へのステップアップを目指す。</p>	<p>街道みたけ交流館建設事業、名鉄駅前駐車場整備(関連事業)</p>
<p>御嶽宿のサインを充実させ、宿場町地域の修景を行い、景観を楽しみながら歩いて人と人との交流を創出させる。 御嶽宿への標示を分かりやすくし、統一した景観を促進させるための修景を行い、宿場まちの面影を創出させ、住民や来訪者の散策につなげる。</p>	<p>唐沢川周辺ポケットパーク整備事業、案内板設置・道路標識等修景整備事業(基幹事業) 沿道私有建築物等修景補助事業(提案事業) 道路(歩道部)カラー舗装等修景事業(関連事業)</p>
<p>開通予定国道21号バイパスと現国道21号とのはしご状の道路整備による車の流れを誘導する。 御嶽宿地域へのバイパスなどからの寄り付きをよくしつつ、御嶽宿地内の歩く場の環境づくりにつなげる。</p>	<p>町道御嵩102号道路改良工事、町道丹所赤坂線道路改良事業、町道大泥茶円原線道路改良事業(基幹事業) 名鉄駅前駐車場整備、道路(歩道部)カラー舗装等修景事業(関連事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、各事業部署や関係機関と連携して、事業成果についての評価や事業の進め方の改善等を行うための進行管理を実施する。</p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動 当地区の中心である御嶽宿界隈においては、「みたけ地域活性化委員会」の活動への支援等により、御嶽宿の再生をはじめとする地区の魅力発信や誘客を図る。また、まちづくり活動組織への支援等を通じて、継続してにぎわいの創出に努める。</p>	

都市再生整備計画の区域

御嵩・中地区(岐阜県御嵩町)	面積 95.8 ha	区域 長岡、城町、栢森、向陽台、上町、若松町、中本町、元町、愛宕町、昭和町、若宮町1、木ノ下、西之門、南山、十日市場、南町、西屋敷、春日町、北屋敷、尼ヶ池の各地区
----------------	---------------	--

